

TOTO

排水弁バルブ部

商品の機能が十分に発揮されるように、この取付説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。
取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

1 安全上の注意 (安全のために必ずお守りください)

取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

●この説明書では商品を安全に正しく取り付けていただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



注意

この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



は、してはいけない「禁止」内容です。
左図は、「分解禁止」を示します。



は、必ず実行していただく「強制」内容です。
左図は、「必ず実行」を示します。

注意



禁止

強い力や衝撃を与えない

陶器が破損してけがをしたり、水漏れのため家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。



分解禁止

修理技術者以外の方は、金具本体内部を分解しない

故障や水漏れの原因になります。



必ず実行

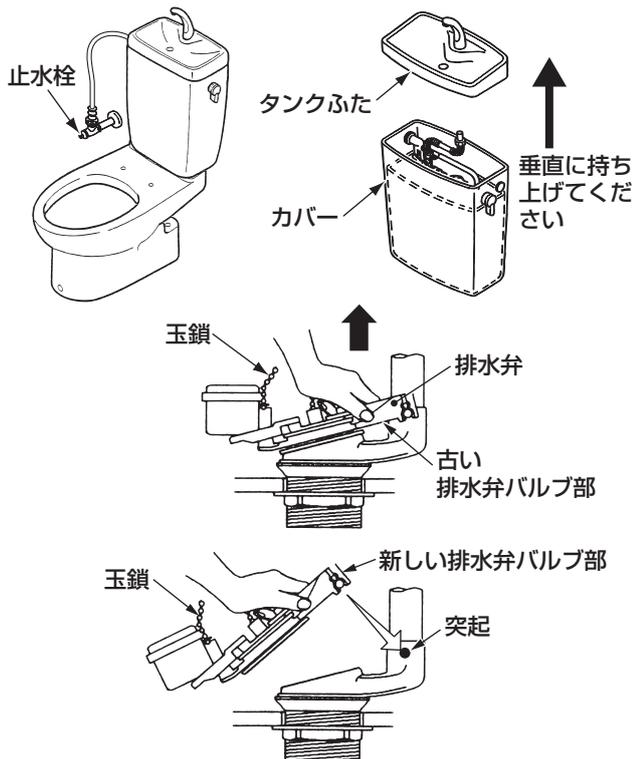
設置工事に使用する部品は必ず付属部品および指定部品を使用する

故障や水漏れの原因になります。

設置工事は、この説明書に従って確実にを行う
故障や水漏れの原因になります。

2 排水弁バルブ部の取り付け

1 排水弁バルブ部の取り外し・取付方法



1. 止水栓を閉めてからタンク内の水を流す。流したあと、タンク内に給水されていないことを確認する。

※止水栓の閉めかたは、裏面の「止水栓の開閉」を参照してください。

2. タンクふたを外す。

※手洗い付きの場合は、裏面の「タンクふたの外しかた」を参照してください。

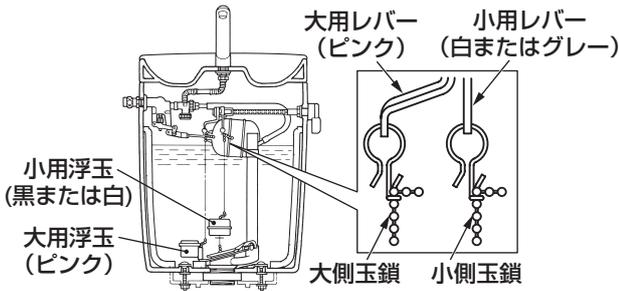
3. 左図のように古い排水弁バルブ部の根元を持ち、上向きに引き上げて外す。

※このとき、大・小用レバーから玉鎖も外してください。

4. 左図のように新しい排水弁バルブ部を本体の2カ所の突起へ取り付ける。

裏面へつづく

1 排水弁バルブ部の取り外し・取付方法 (つづき)



- ①大用浮玉※ (ピンク浮玉) につながっている玉鎖は、大用レバー (ピンクレバー) につないでください。
 - ②小用浮玉※ (黒い浮玉) につながっている玉鎖は、小用レバー (白またはグレーのレバー) につないでください。
- ※浮玉は白の場合もあります。

5. 大・小玉鎖を左図のように正しく取り付ける。



玉鎖をレバーに接続するときは、玉鎖が交差したり、絡んだりしないよう十分注意してください。洗浄不良となることがあります。

6. タンクふたを元に戻す。

※手洗い付きの場合は、この面の「タンクふたの外しかた」を参照し逆の手順で元に戻してください。

止水栓を開き(マイナスドライバーで左に回す)、タンクに給水させて水が止まったことを確認する。

2 排水弁の作動確認

排水弁バルブ部の取り付け完了後は、大洗浄、小洗浄それぞれが正常に作動することを確認してください。大洗浄時は大用浮玉、小用浮玉ともに浮き上がり、小洗浄時は、小用浮玉のみが浮き上がります。

正常に作動しない場合には玉鎖の調節をしてください。



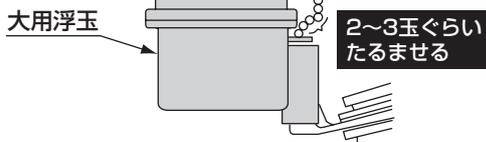
玉鎖の調節が間違っていると洗浄不良になるおそれがあります。

最初は玉鎖を調節せずに、そのままの位置でレバーを接続して動作をご確認ください。レバーを大側に回したときは上下両方の弁が、小側に回したときは上側の弁のみが開くことをご確認ください。

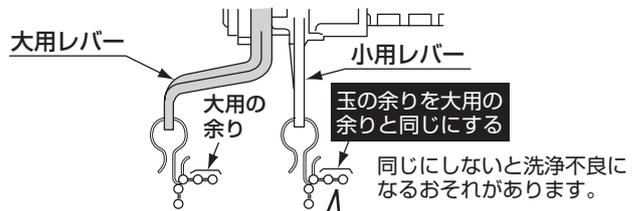
正常に作動しない場合は次の手順で調整してください。

- ①初めに大用浮玉※ (ピンク浮玉) につながっている玉鎖を、排水弁操作部の大用レバー (ピンクレバー) につないだ状態で、玉鎖のたるみが、2~3玉ぐらいになるようにクリップの位置を調節してください。

※浮玉は白の場合もあります。

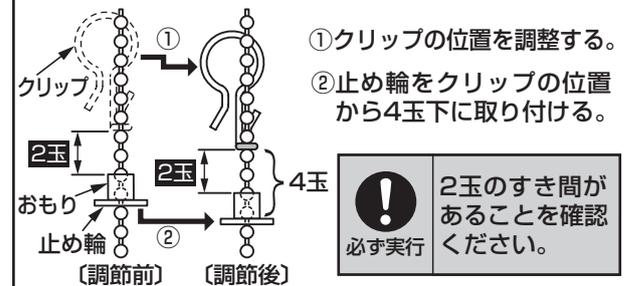


- ②小用の玉鎖を大用で調節したときに余った玉の数と同じ数だけ玉を余らせてください。



注) 使用対象タンク品番S790B系については、大用余り玉より一玉少なくしてください。

必ずクリップとおもりは2玉分すき間をあけてください

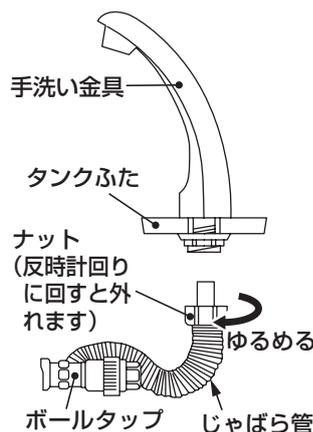


※大小レバーともに2玉分のすき間をあけてください。

止水栓の開閉



タンクふたの外しかた



1. 止水栓を閉める。
2. タンクふたを外す。

※手洗い付きの場合は、手洗い金具とボールタップがじゃばら管で接続されています。タンクふたを少し持ち上げてからナットをゆるめると取り外せます。

⚠ 注意

タンクふたは落下しないように注意する
必ず実行 割れることがあります。